

# 松江市 報道提供資料

令和6年1月16日

件名 松江歴史館館蔵品展「明治時代のサムライたち」の開催について

## 内容

松江藩が廃され、島根県が誕生し、武士が禄を失った明治時代。武士を取り巻く情勢が大きく変化したこの時代を、旧松江藩士はどう生きたのか。松江歴史館が収蔵する多数の古文書・歴史資料の中から、明治時代の士族に関する史料を展示して、松江藩士の行く末をたどる。

会 期 令和6年(2024)1月26日(金)～3月31日(日) 毎週月曜休館  
オープニング式典は1月26日(金)9時から開催(8時30分受付開始)。  
※前回の企画展より30分早く、オープニング式典を開会します。

会 場 松江歴史館 企画展示室

開館時間 9:00～17:00 ※観覧受付は16:30まで

## 【注目点】

- ・日本歴史学に大きな足跡を残した松江出身の歴史学者、三浦周行(ひろゆき)博士の人生を追える古文書、三浦周行家文書を初公開。
- ・明治時代における、松江の士族の多様な職業選択を紹介する。

## 【問い合わせ】

文化スポーツ部 松江歴史館 担当：笠井・安部

電話：0852-55-5511

「館藏品展」

# 明治時代のサムライたち

松江藩士の行く末

変化の時代、  
それぞれの選択。



2024

1.26<sub>金</sub> — 3.31<sub>日</sub>

松江歴史館 企画展示室

開館時間 | 9:00~17:00 (観覧受付は16:30まで)  
※オープニングセレモニーのため、1月26日(金)のみ展示室は10時開場

休館日 | 月曜日 (祝日の場合は翌平日)

観覧料 | 大人 ..... 300円 (240円)  
中学生以下、高校・大学等に通う学生 ..... 無料  
※高校・大学等に通う学生は学生証の提示が必要です  
※基本展示室とのセット券の料金は大人650円(520円)  
※( )内は20名以上の団体料金

【主催】松江歴史館  
【後援】島根県、島根県教育委員会、朝日新聞松江総局、産経新聞社、日本経済新聞社松江支局、毎日新聞松江支局、読売新聞松江支局、中国新聞社、山陰中央新報社、島根日日新聞社、新日本海新聞社、共同通信社松江支局、時事通信社松江支局、NHK松江放送局、TSKさんいん中央テレビ、BSS山陰放送、日本海テレビ、山陰ケーブルビジョン、エフエム山陰

①「土族の商法」永島辰五郎、明治10年(1877) ※国立国会図書館デジタルコレクション(<https://dl.ndl.go.jp/pid/1312593/1/1>)を加工して作成  
②「三代島根県庁舎」明治42年(1909)竣工

松江歴史館

島根県松江市殿町 279 番地  
(電話) 0852-32-1607 (FAX) 0852-32-1611



# 明治時代の サムライたち

「館蔵品展」

## 御一新！ 変わり行く松江

博覧会開催 展望台となった松江城天守

明治6年(1873)松江城で博覧会が開催された。天守は「遠眼鏡」(望遠鏡)を備えた展望台として使われた。代々藩主が登った権威の象徴は開放され、四方を眺望する人々に賑わった。



松江亀田城内より眺望図 明治6年(1873)、当館蔵

## サムライたちの職業選択

瀧野多三郎 白瀧天満宮の側で散髪屋を開く

散髪脱刀令が発せられてから間もなく、瀧野多三郎は散髪店を開業した。西洋式砲術を学び、フランス人教官ワレットと交流した経験が、新たな時代の求めに応じた職業の選択に繋がったという。



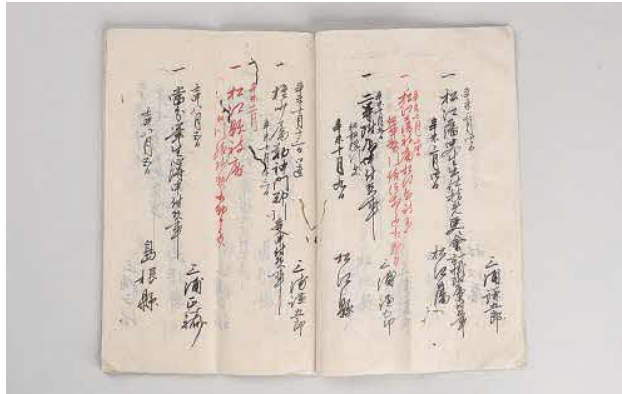
瀧野多三郎の散髪用具 明治時代、当館蔵

松江藩が廃され、島根県が誕生し、武士が禄を失った明治時代。松江城は解体され、天守のみがそびえる姿になった。急速に変化する時代を、旧松江藩士はどう生きたのか。島根県の役人となり、生涯松江城下に居た父・三浦正祐、新たな学校制度のもとで身を立て、京都帝国大学国史学講座の教授となった子・三浦周行をはじめ、社会の変革期における旧松江藩士の生き様を追う。

## 三浦家二代の明治時代 三浦周行家文書 初公開

島根県の役人となった父・三浦正祐

慶応3年(1867)に家督を継いだ三浦正祐は、18石4人扶持を給する下級藩士として明治時代を迎えた。それからは役人として松江藩の廃止と松江県の誕生、島根県への改編、鳥取県との合併・分離などを経験してゆく。



三浦正祐の履歴書 明治22年(1889)、当館蔵

大学で学び教授となった子・三浦周行

明治4年(1871)に松江で生まれた三浦周行は、10代で東京へ出て、帝国大学国史科の学生として勉学にいそしんだ。大学を卒業した周行は京都帝国大学の教授となり、現在の京都大学日本史研究室の礎を築いた。



帝国大学生 三浦周行の時間割 明治20年代、当館蔵

### 関連イベント

#### 藤岡大拙名誉館長 記念講演会

「郷土松江が生んだ国史学の泰斗 三浦周行博士」 **要申込・観覧券必要**

日時：3月10日(日) 14時~15時30分

会場：松江歴史館 歴史の指南所

講師：藤岡 大拙(当館名誉館長) 定員：60名(先着順)

※講演会の参加には館蔵品展の観覧券(半券可)または年間パスポートの提示が必要です。

#### 松江おもしろ談義

「松江藩士三浦家ゆかりの古文書を読む」 **要申込・無料**

日時：2月18日(日) 14時~15時

会場：松江歴史館 歴史の指南所

講師：笠井 今日子(当館副主任学芸員) 定員：60名(先着順)

〈申込み先〉松江歴史館 TEL 0852-32-1607 (9時~17時、月曜除く)

#### ギャラリートーク

学芸員による展示解説 **申込不要・観覧券必要**

日時：2月3日(土)、2月23日(金・祝)、

3月14日(木)、3月24日(日) 各日14時~15時

会場：松江歴史館 企画展示室

※館蔵品展の観覧券または年間パスポートの提示が必要です。

#### 人生すごろくで遊ぼう

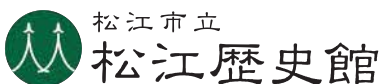
あったかい松江歴史館ですごろく遊び **申込不要・参加無料**

●明治時代のサムライの人生をテーマにしたすごろくで遊ぼう

日時：展示期間中随時開催

●オリジナル人生すごろく作り

日時：2月10日(土)~12日(月・祝) 各日10時~15時



〒690-0887  
島根県松江市殿町279番地  
(電話) 0852-32-1607  
(FAX) 0852-32-1611

※最新の情報はSNS、松江歴史館のホームページにてご確認ください。



#### ●市内交通バス

- ◎ぐるっと松江レイクライン  
JR松江駅より13分[大手前堀川遊覧船乗場・歴史館前] 下車徒歩3分
- ◎一般路線バス JR松江駅より9分[県民会館前] 下車徒歩5分  
JR松江駅より15分[塩見縄手] 下車徒歩1分

#### ●自動車

- ◎山陰道(松江西ICから県庁・松江城方面10分)
- ◎松江歴史館専用駐車場あり(徒歩1分、12台、無料)
- ◎当館敷地内に身障者専用駐車場あり

#### ●飛行機

- ◎出雲空港へは 東京(羽田)90分/大阪(伊丹)60分/福岡70分  
名古屋(小牧)70分
- ◎米子空港へは 東京(羽田)80分
- ※各空港よりJR松江駅まで連絡バスが運行  
出雲空港(35分)/米子空港(45分)